

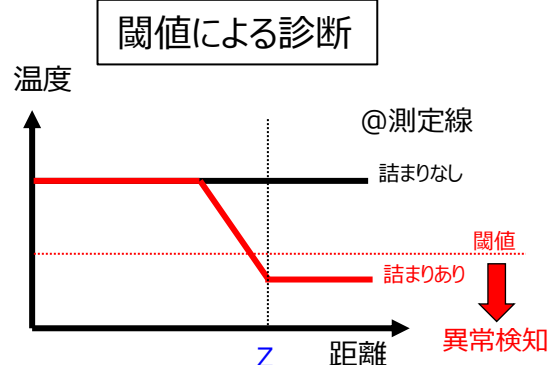
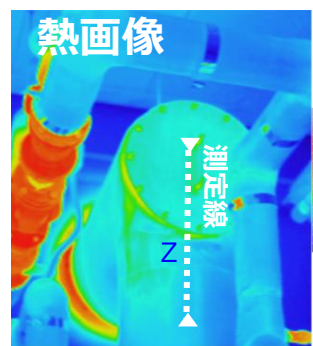
設備稼働を止めず、非接触で配管詰まりの予兆を検知

市場：建物・構造物 アプリケーション：設備の点検・診断

課題

従来検査法では配管詰まりしか判別できず、
周囲の温度情報により誤検知のリスクがある

赤外線カメラによる配管検査（従来検査法）：
配管をポイント又は測定線上で監視し、しきい値判定を実施

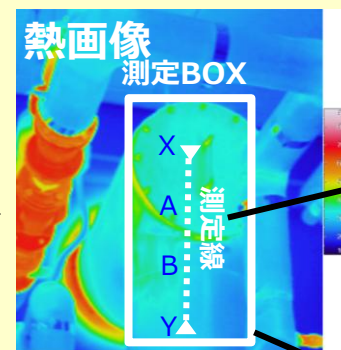


従来検査のデメリット

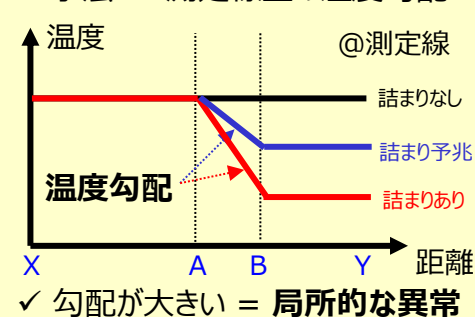
- × 詰まりが進行した状態しか分からない
- × 検査対象外の温度情報により、誤検知のリスク

解決手段

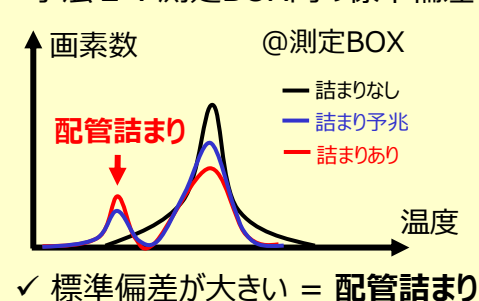
2つの測定手法の組み合わせにより、
配管詰まりの予兆検知が可能



手法1：測定線上の温度勾配



手法2：測定BOX内の標準偏差



本特許のメリット

- 予兆を検知により、メンテナンス頻度を最適化できる
- 温度勾配と標準偏差を組み合わせることで、周辺環境の影響を少なくできる

導入効果：配管メンテナンス回数を削減し、コスト削減